

彦根の古民家実態調査に参加しませんか

平成11年(1999)滋賀県立大学土屋研究室が手がけられた彦根城下町民家調査によれば、当時1,000余戸の古民家が残されていました。しかし、その後6年で、多くの町家が取り壊されて駐車場などに変わったり、空き家となっていると聞いています。

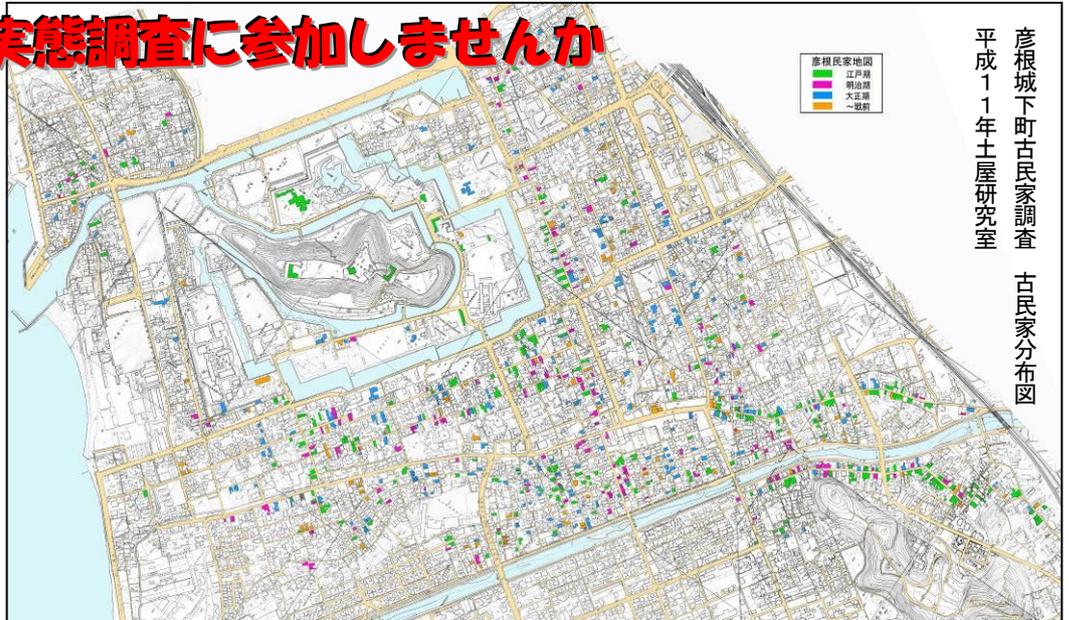
これらの町家は、先祖から贈られた財産です。個性豊かなまちを蘇らせ、生き生きとしたまちを創るためには、その町特有の町家を生かすことが不可欠です。

彦根景観フォーラム・教育・相談・学習分科会では、土屋先生の調査を基に、十分に利用されることなく消え去ろうとしている街の財産を把握するため、新たに古民家実態調査を実施しています。

第1段階では、平成11年以後の所在確認調査を実施し、近日中に終了します。次の段階では、人の目視による建築的要素の確認や利用状況などの調査に入る予定です。何分にも大量のデータを扱いますので多くの人材を必要としています。

ご協力いただける方には調査方法の研修も行いますので、地域の皆様、小学生から高齢者まで、どなたにも参加していただけます。多くの皆様のご参加を期待しています。

詳しいお問い合わせは、彦根景観フォーラム事務局 岡野までお願いします。



彦根城下町古民家実態調査
 彦根城下町古民家実態調査
 彦根城下町古民家実態調査

彦根城下町古民家調査
 平成11年土屋研究室
 古民家分布図

リレー・エッセイ わたしの彦根

酒井 泰弘

私の人生は「リスクとサプライズ」の連続です。生まれたのは、商都大阪。30回に及ぶ大空襲を耐え抜き、戦後の配給と闇市の中で育ちました。それから神戸、コロラド、ロチェスター、ピッツバーグ、広島、つくば、土浦などを渡り歩き、3年前に35年ぶりに関西に戻ってきました。

彦根は家内の郷里でして、旧組屋敷が残存する芹橋地区に住んでいます。亡父は旧制彦根高商の卒業生ですので、滋賀大学の教壇に立っている私は、遅ればせながら「親孝行」をしていることになります。

この間、世界のあちこちを見てまいりました。常に実感しますことは、世界の人々から尊敬されるためには、経済力や軍事力だけでは十分ではないということです。歴史や文化の力をも斟酌した総合的な「人間力」の大きさが、最も大切なのです。

彦根景観フォーラムは、この人間力を大きくする絶好の場を提供しています。人々の力をうまく結集させ、世界遺産の指定という「ナイス・サプライズ」が起こるように共に頑張りましょう。

うだつの「うッブ君」に決定



名前を募集していました当フォーラムのマスコットは、うだつのある町家の特徴から、**うだつの「うッブ君」**に決定しました。

これからも、大いに活躍します。どうぞよろしくをお願いします。



彦根城築城 400 年祭のスタンプが公表されました。市役所の HP から DL できます。みんなで使って盛り上げましょう。(^^)

NPO 彦根景観フォーラムに入会して、彦根のまちづくりを実践しましょう。

- 例会 毎月第2水曜日午後7時～9時 滋賀大学陵水会館にて 年会費 6,000 円
- 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968/0749-27-1141 FAX 0749-27-1431

<http://www.h6.dion.ne.jp/~hikone/hikone2/index/html> e-mail: hikonekeikan@hotmail.com

- きらっと彦根 年4回発行 次号4月1日予定 発行/山崎一真 編集/堀部栄次



きらっと彦根

2006 1

彦根の魅力★再発見

うだつの「うっつ君」

彦根まちづくり情報誌 2006年1月10日 通巻3号 編集/発行：NPO法人 彦根景観フォーラム



街の駅 寺子屋・カ石 オープン

News

— 築200年の町家を改装 —

まなび、楽しむ人の憩いの場

昨年10月16日「街の駅」開設セレモニーが開催されました。彦根市長はじめたくさんの方からご祝辞を頂戴しました。

花しょうぶ通り「街の駅」寺子屋カ石は、皆さんが利用するプラットホームです。現代版寺子屋、街の歴史・文化の勉強をしたり、趣味の教室も開催します。みんなでアイデアを持ち寄って楽しい情報基地づくりをめざします。

滋賀大学の学生さんによる子供たちの学習塾、手作り鎧兜（よろいかぶと）教室、パソコン教室は既にスタートしています。陶芸教室、水墨画、絵手紙、こけ玉教室も始まります。教わりたいこと、教えたいこと、何でも持ち寄りましょう。二人いれば講座はスタートできます。楽しみながらお勉強も少ししましょう。

彦根城にいらしたら少し足を伸ばして、花しょうぶ通りのレトロな町なみを楽しみ、「街の駅」を覗いてみてくださいね。駅長、副駅長とも、心よりお待ちしております。

<http://machinoeki.exblog.jp/>



挽きたてコーヒー 200円
思わず欲しくなる陶器が楽しい

ぶらっと彦根「朝鮮通信使の足跡をたどる」

彦根景観フォーラムでは、11月5日(土)、「朝鮮通信使の足跡をたどる」をテーマに、講演とまちあるきを開催、100名近い参加者となりました。

午前は、宗安寺住職竹内眞道氏が宿泊所であった宗安寺の様子や、寺に伝わる朝鮮高官の肖像画を紹介されました。ついで「朝鮮通信使と朝鮮人街道」と題し、

高月町教育委員会学芸員佐々木悦也氏が、朝鮮通信使の役割や雨森芳州の活躍を講演されました。なかでも、初期の通信使の役割が、豊臣氏により拉致された朝鮮人の帰国であった

ことは驚きでした。

次に、韓国京畿大学教授金東旭氏が、韓国の城郭都市の変遷について、日本語でわかりやすく説明されました。

午後は、朝鮮通信使の宿泊所となった他の寺院、古い商家や足軽屋敷、朝鮮人街道界隈を歩きました。夜の懇親会では、世界遺産となった水原（スーウォン）城の再建にあたった韓国の研究者や学生と、「街の駅・寺子屋カ石」で酒を酌み交わし、彼らが彦根の細い路地を高く評価しているなど、新しい発見の多い一日でした。



京畿大学 金東旭 教授

世界遺産をめざして
ネットワークによる
彦根足軽屋敷博物館構想

連載 創造的修景を考える (3)
すまいと修景 戸所岩雄
リレーエッセイ
わたしの彦根 酒井泰弘

お知らせ
●古民家調査に参加しませんか
●ついに決定、マスコットの名前は？
●彦根城築城400年祭公式スタンプ